

工事進捗状況【令和元年11月時点】

1 安楽川井水路（C水路）〔紀の川市〕

紀の川市桃山町市場地区・元地区の湛水被害を軽減させるため、平成27年度から安楽川井水路（C水路）の改修工事を実施しています。

今年度は安楽川小学校と県道3号線の周辺で、既設の開水路をボックスカルバートで暗渠化する工事を進めています。

また、本工事は水路の整備と併せて、水路沿いの市道を拡幅する、紀の川市との共同工事として実施しています。

本工事によって、地域の湛水被害が軽減されるだけでなく、緊急車両の住宅区画への進入が可能になるなど、交通の便も改善されます。



安楽川井水路（C水路）工事位置

2 米田排水機場〔和歌山市〕

工事は水路の通水が停止する11月から開始され、令和2年2月までを予定しています。

和歌山市朝日地区の米田排水機場の改修が平成31年3月に竣工し、令和元年10月より旧機場の撤去工事が始まりました。旧機場の撤去中も洪水時には新機場を稼働させる必要があるため、7月に施設管理者と地元消防団の皆様にも新機場の操作説明会を開催しました。

説明会では、受注者による機器の説明、実際に稼働させながらの操作説明のほか、参加者との操作に関する質疑応答を行いました。

旧機場の撤去後、新機場の性能を十分に引き出すため、跡地は遊水地として整備されます。撤去及び遊水地の整備は令和2年3月までを予定しています。



新機場でのポンプ操作の説明

和歌山平野地区における埋蔵文化財保護活動

名草排水機場〔和歌山市〕周辺には、和田岩坪遺跡という遺跡の存在が確認されています。改修工事に先立ち、昨年度より和歌山県文化財センターへの委託業務として、和田岩坪遺跡の発掘調査、記録資料や出土遺物の整理、調査報告書の作成を実施しています。今回、和田岩坪遺跡の歴史について文化財センターにお話をうかがいました。

公益財団法人和歌山県文化財センターは、県内における文化財等の調査、研究、保存、修理等を行うとともにその活用を図ることにより、文化財の保護及び県民の皆様に文化財等に対する理解、認識を深めていただき、文化の振興に寄与することを目的としています。

和田岩坪遺跡の調査は、古くは昭和31年の名草川改修に伴う発見に端を発し、昭和56年には駐車場用地造成に伴う小規模な調査が行われました。また、和田岩坪遺跡周辺には、坂田遺跡、和田遺跡、和田Ⅱ遺跡、和田古墳群などの多くの遺跡が確認されています。

今回の調査では、弥生時代前期（約2500年前）の土坑や鎌倉時代（約750年前）の屋敷地に伴う塵捨て穴や水溜め遺構が見つかりました。また、弥生時代終末期（約1800年前）から古墳時代後期（約1450年前）にかけて、断続的に埋まった河跡が発見され、大量の土器や木製品が出土しています。これらの発見により、この地域は和田遺跡同様に、2500年前頃から

人々が住み始めたことがわかってきました。さらに、検出された遺構から、和田川の堤防の整備によって鎌倉時代に人々の生活する場所が安定してきたこともわかってきました。これらの事は、当地域の歴史を考えるうえで欠かすことのできない重要な発見と言えます。



名草排水機場周辺航空写真
排水機場と和田岩坪遺跡と
和田古墳群の間に位置する



出土遺物（銅）復元作業の様子

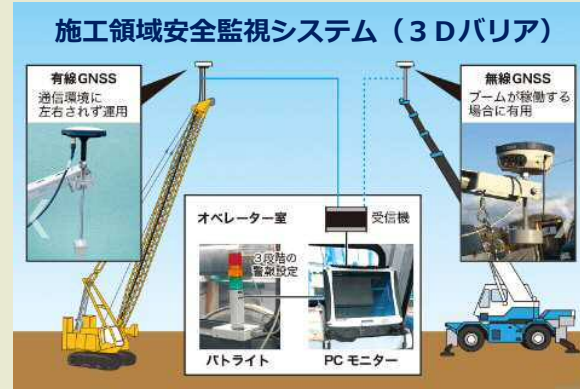


鎌倉時代（750年前）に捨てられた食器類。左から碗、皿、鍋

青洲まつり参加レポート

10月27日（日）に開催された青洲まつり（紀の川市主催）に、和歌山県土地改良事業団体連合会、紀の川土地改良区連合と合同で参加しました。展示ブースでは、パネル展示のほか、土地改良区連合や本事業のパンフレットの配布、農業用水路の役割を伝えるビデオの放映を行いました。地域の担い手である子どもたちが立ち止まって、興味深くビデオを鑑賞してくれたことに安心感を覚えました。

先人達は、作物を作れるようにするため、苦労を重ねて農業用水路を開削し、この地域の発展を支えてきました。用水路は地域の排水路としての役割も果たし、農業用水は防火用水にも活用されています。このように、農業水利施設は地域の施設でもあり、これを守っていくためには地域住民の方々の理解と協力が必要です。今後も地域社会のイベントへの参加等を通じて、農業水利施設の役割や本事業の必要性等を発信していきたいと思ひます。



↑施工領域安全監視システムの概要。作業エリアを3次元座標で設定しクレーン先端に取り付けたGNSSによって位置をリアルタイム把握、エリア境界に近づくとパトライトと警報音でオペレータ及び作業員に警告する。



令和元年9月から、岩出市金屋・畑毛地区にて、六箇井幹線水路から山崎放水路へのバイパス水路を推進工法によって整備する工事を実施しています。推進工法には地中への入り口となる立坑を設置する必要がありますが、この現場では発進立坑の上空20メートルに高圧電線が位置するため、クレーンが高圧電線に接触しないよう、施工領域安全監視システム（3Dパリア）という技術や、分割した矢板を溶接でつなげながら打ち込むといった現場作業員の工夫によって進められています。

発進立坑の設置は11月までを予定し、その後、推進機による施工が始まります。

効果発現状況

8月16日の台風10号にて、高川排水路〔和歌山市〕を利用した排水が行われました。

高川排水路分流工地点
六箇井水路の排水の一部を高川に逃がし、水路からの溢水を防ぎました。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号 H25情保、第790号)

令和元年11月時点

国営土地改良事業 和歌山平野地区 実施状況・計画平面図

和歌山平野地区

七瀬排水路

波分山崎排水路

岡田排水路

高川排水路分流工

六箇井水路

高川排水路放流工

高川

名草排水機場(現況)

名草排水機場

米田排水機場

米田排水機場(外観)

米田排水機場(内部)

四箇井支線水路

施工前

施工後

小田井水路(海神排水路)【完成】

1

安楽川井水路(C水路)

海神排水路ため池放流工

海神排水路河川放流工

海神川

安楽川井水路(C水路)

安楽川井支線C3号水路

凡例	
受益面積(田)	
受益面積(畑園地)	
排水路(新設・改修)	
排水水門(改修)	
排水機場(新設・改修)	
洪水調整池	
排水機場(関連事業)	
既設排水機場	
既設用水路	

凡例	
実施済	
実施中	
令和元年度	
令和2年度以降	

1:35,000